

農業のうぎょうきかい　むかしの農業は、人手のほかに、牛や馬を、使いました。昭和四十年ころから、農業用きかいも、少しずつ使われるようになりました。今では、ほとんどの農家が、きかいを使って、田や畑の仕事をしています。

きかいのおかげで、田や畑の仕事を、早く、楽たのしみにすませることができるようになりました。しかし、農業用きかいのねだんが高かったので、農家の人たちは、たいへんです。

ふえてきた農業用きかい

年 きかい	42年	45年	50年	55年	60年
トラクター	6	40	114	386	406
ことうんき	443	465	520	380	426
ぼうじょき	190	242	345	318	357
田植えき	—	—	174	337	389
バインダー	2	24	300	342	315
コンバイン	—	—	22	93	180
かんそうき	—	15	37	88	157

資料 第84回福島県とうけいねんかん統計年鑑及び農林業センサス(45～60年)